

マイクロフィルム電子化支援のご案内

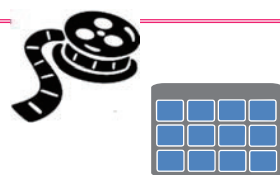
図書館・室所有のマイクロフィルム対象

マイクロフィルム電子化支援は、おかげさまで総長裁量経費採択をいただきました！
今年度も1年間**無料**で電子化支援をご利用いただけます。

ぜひこの機会に、お持ちの貴重な資料を電子化してみませんか。

電子化支援とは？

当センターでは、マイクロフィルムに記録されているデータを、
全学経費で導入された専用のスキャナを用いて
パソコン等で閲覧可能な電子データに変換する支援を行っています。



ロールフィルム、
マイクロフィッシュも
対応！

電子化のメリット

- ① 貴重な資料を、フィルムの劣化による破損から守ることができる
- ② 離れた場所での資料のやり取りが、迅速かつ低コストで実現できる
- ③ 保管された資料の中から、欲しい情報を簡単に検索できる
- ④ さまざまな表示が可能となり、可読性を高めることができる
(拡大・縮小や、見辛い文字・画像の濃淡を調整して見やすくする、など)

PCで資料閲覧できると
とっても便利♪



マイクロフィルムリーダーを
使うより簡単・早い！



参考：経済産業省「文書の電磁的保存等に関する検討委員会報告書」

電子化支援の種類

委託型電子化支援（ロールフィルム1本すべてを電子化） 2ページ

機器時間貸し型支援 3ページ
(ロールフィルムを閲覧しながら自分で電子化、マイクロフィッシュの電子化)

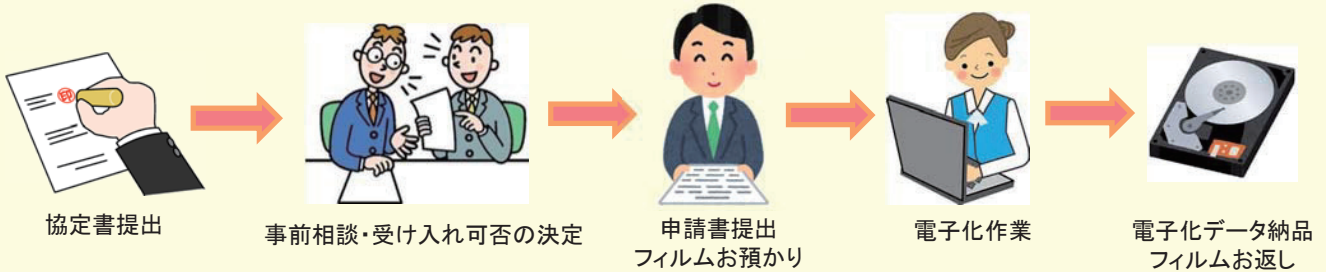
図書館・室への寄贈による電子化 4ページ

ロールフィルム1本すべて電子化

委託型電子化支援

図書館・室が所有されているロールタイプのマイクロフィルムをお預かりし、スキャンした電子化画像をデータとして納品致します。(本数限定)

～委託型電子化支援の流れ～

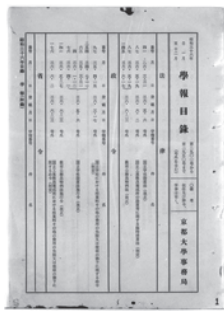


ご利用例 ～大学文書館～

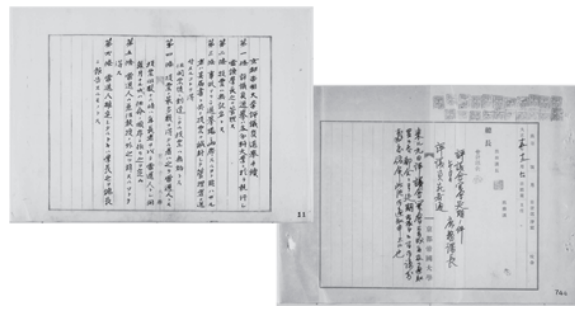
Q.どんな資料を電子化しましたか？

A.過去の京都大学の公文書

大学文書館が所蔵する「学報綴」(1961年～1981年)や「評議会関係書類」(1899年～1911年)のマイクロ資料



学報綴



評議会関係書類

Q.電子化支援を利用した理由は何でしたか？

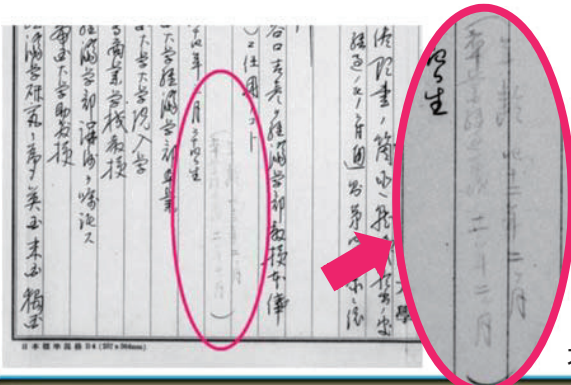
A.資料の利用促進につなげるため

大学文書館は、所蔵資料を撮影したマイクロフィルム計2000リールあまりを保有している。それらの画像が電子化されれば、レファレンス業務の効率化が図られ、所蔵資料の利用促進につながると考えた。

Q.利用してみて良かった点は何ですか？

A.画像の見やすさがアップ！

資料の中には、さまざまな色や濃さで記された文書が混在して綴じられているものがある。このような資料を撮影したマイクロフィルムを電子化した際、1つのフィルムから複数パターンの濃度の画像を作成していただいたため、コンピュータ上でも電子化画像の文字が読み取りやすくなった。



薄くて判読が難しい文字も、濃さを調整してスキャンすることで読みやすさが向上する。

*濃くするだけでなく、薄くする処理も可能なため、たとえばインク等の染みによってつぶれてしまった文字も、ある程度浮かび上がらせることができます。

大学文書館所蔵 評議会関係書類 より一部抜粋

Q.電子化した画像の今後の活用法について

A.調査・研究などに活かしたい

今回、電子化を行った資料は、いずれも京都大学の歴史を調べる上で基本となる資料群の一部であり、一般の利用者による閲覧頻度も高い。

今後、大学文書館における調査・研究や、外部からの問い合わせへの回答など、さまざまな目的で活用していきたい。



スキャンしたコマ画像の保存ファイル形式や、出力解像度、ファイル・フォルダ名等のご指定も行っていただけます。詳しくはお問い合わせください。

ロールフィルムを閲覧しながら電子化したい・マイクロフィッシュを電子化したい 機器時間貸し型支援

ご利用者様自身が、当センターのスキヤナを使って、様々なマイクロフィルムの閲覧、および電子化を行っていただけます。

* 図書館・室の職員および利用者様(学生・一般利用者等)が対象です。



機器時間貸し型支援は**事前予約制**となっております。
協定締結後、すぐにご利用になれます。

ご利用例 ～ 東南アジア研究所図書室 ～



マイクロフィッシュの電子化をされている様子

Q.機器をご使用になったご感想は？

操作は予想より簡単で使いやすかったです。

Q.用意させていただいたマニュアルなどについてはどう感じましたか？

マニュアルや最初の説明体制は十分でした。

当支援についてのご感想(図書室より)

焼き付けが甘く、不鮮明なマイクロ資料が多いので、デジタル化によって**マイクロリーダーよりも鮮明に資料閲覧が可能**となり、利用者には好評である。



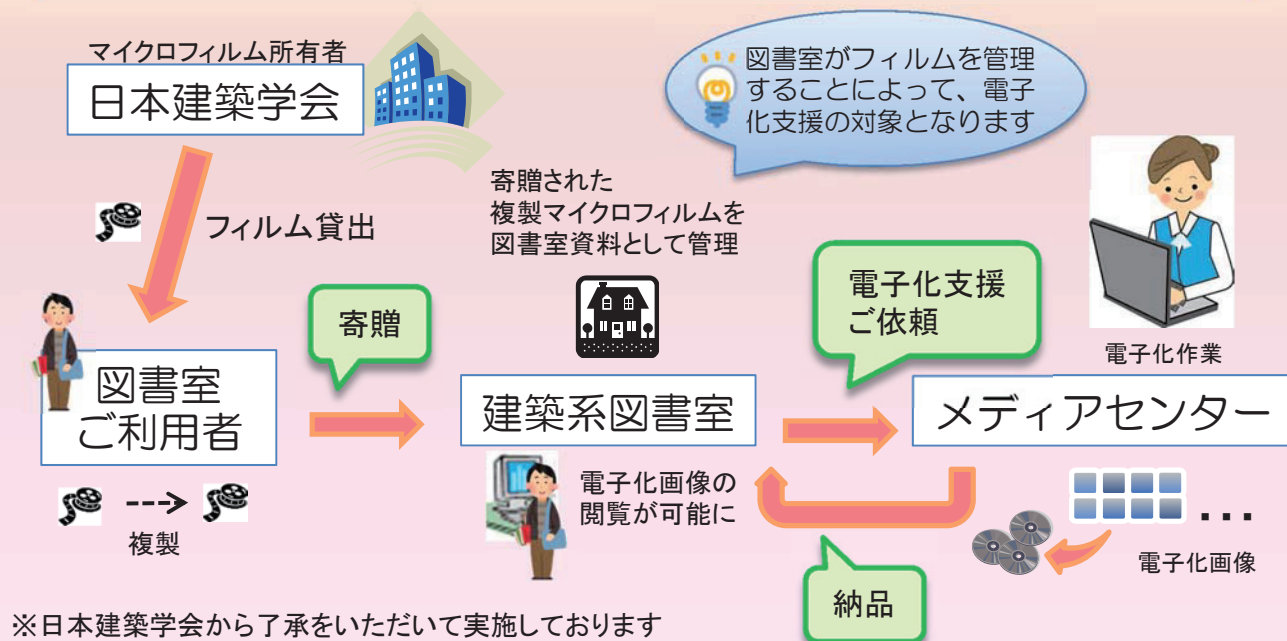
**どなたでも簡単にマイクロフィルムを
閲覧・電子化できます！**

図書館・室に所蔵されていないマイクロフィルムを電子化したい

図書館・室への寄贈による電子化

京都大学ご所属の教員・研究者の方がお持ちのマイクロフィルムも、
図書館・室に寄贈などいただけましたら、
電子化支援の対象となることがあります。

ご利用例 ～ 工学研究科建築系図書室 ～ <委託型ご利用>



使用スキャナ
(全学経費で導入)

当センターでは、以下の2種類の専用スキャナを使用しています。
(機器時間貸し型支援でご利用いただけるのは、右の「マイクロフィルムビューワー&スキャナ」となります)

ロールフィルム専用
超高速スキャナ



マイクロフィルムビューワー
& スキャナ

ロールフィルム、
マイクロフィッシュ
も対応



本支援は、マイクロフィルムを所有する図書館・室と学術情報メディアセンターが、協定を締結して実施いたします。
すでに協定をご締結いただいております場合は、そのまま継続して平成28年度もご利用いただけます。
なお、本支援は、平成28年度総長裁量経費・研究支援人材経費の支援を受けて実施いたしております。

お問い合わせ
ご相談先

E-mail: mf-info@stat.media.kyoto-u.ac.jp / 内線 : 87464
学術情報メディアセンター 食料・農業統計情報開発研究分野
(担当 吉川、増田)